



はなもみじ

平成22年
5月14日

屋代
小学校

春秋ごとに句うなり

ちがうから ステキ！

～ 5月13日(木)校長講話より ～

3月、6年生が卒業し、5年生が新6年生になりました。先日は、素晴らしい児童総会ができ、屋代小学校の最高学年として、しっかりとがんばってくれています。この前、一重山に登ってみると、みなさんにお話をしたカシワの木は、枯れ葉を落とし、新しい芽を伸ばしていました。みなさんも、新しい学年で、がんばっていきましょう。

また、きのうの音楽鑑賞教室で、「カリンカ」(ロシア民謡)がガマズミやその実(赤い小さな実)のことであることを知りました。この写真は、コバノガマズミです。一重山や近くの山に咲いていますので、また見てください。



カリンカ=コバノガマズミ



前方後円墳(前が丸く、後ろが四角い)

さて、この写真(左)はどこですか？
行ったことのある人？

そうです。皆さんがよく知っている森將軍塚古墳です。「森」という地名のところにあり、昔の人のお墓ですね。

この古墳は、掘り起こした調査をもとに、昔のままに造り直したものです。古墳には石

が積まれ、埴輪(粘土を焼き固めたもの)が並んでいます。この古墳は、今から1,600年ほど昔に造られた、全体の長さが約100mの前方後円墳です。当時の科野のクニを治めていた王様のお墓だと考えられています。この屋代の周辺は、長い長い歴史のあるところだということがわかりますね。



はにわ(埴輪)

久しぶりに森將軍塚古墳に登ってみました。息を切らせながら古墳に着き、古墳の上に登り雄大な眺めを見ようと石段を登りながら、足をとめました。すると、積まれた石に目がとまりました。この石は、決して大きくない小さな石です。みんな同じ「石」ですが、大きさは不ぞろい、形も不ぞろい、み



んな違ってきます。

もし、このごつごつした石がなかったら、
もし、この平べったい石がなかったら、
もし、この丸っこい石がなかったら、
もし、大きな石の間にあるこの小さな石
一個がなかったら、…。

違った石がなかったら、この石垣は崩れてしまうのではないのでしょうか。同じ「石」でもみんな違う石が、隙間を埋めて、がたがた動かないようにしっかり組み合い、この大きな古墳が絶対に崩れない石垣を造っているように見えます。

私たちが同じ「人間」です。でも、みんな違います。

男の子もいれば、女の子もいる。背の高い人もいれば、小さい人もいる。足の速い人もいる。算数の得意な人もいる。国語の得意な人もいる。静かにしていることが好きな人もいれば、外で思いっきり遊ぶことが好きな人もいます。分かることもいっぱいあるが、分からないこともいっぱいある。できることもあれば、できないこともある。

それぞれみんな違う。違うみんながいるから楽しい、いい学級、いい学校ができています。みんなが力を合わせているから、楽しいですね。

森将軍塚の石垣のように、自分のよいところ、友達のよいところ、それぞれの違ったよさたくさん見つけ、楽しい学校生活を送りましょう。

今朝は「違っていてステキなこと」というお話をしました。 ════════════

最近の学校生活から



12日(水)鑑賞音楽教室があんずホールで行われました。

オペラ歌手を迎えてと題した東京混声合唱団のすばらしい歌声を聞きました。

